

製品名: NDUFA8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14500**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	NDUFA8
別名	NDUFA8; NADH dehydrogenase [ubiquinone] 1 alpha subcomplex subunit 8; Complex I-19kD; CI-19kD; Complex I-PGIV; CI-PGIV; NADH-ubiquinone oxidoreductase 19 kDa subunit
遺伝子 ID	4702.0
SwissProt ID	P51970
免疫原	抗血清はヒト NDUFA8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 109-158

背景

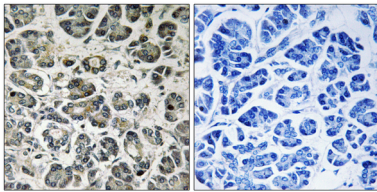
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、複合体 I 19 kDa サブユニットファミリーに属します。哺乳類の複合体 I は 45 の異なる

るサブユニットから構成されています。このタンパク質は NADH 脱水素酵素活性と酸化還元酵素活性を有し、NADH から呼吸鎖への電子伝達において重要な役割を果たします。この酵素の直接的な電子受容体はユビキノンと考えられています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015 年 12 月]、機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH 脱水素酵素 (複合体 I) の補助サブユニットであり、触媒作用には関与していないと考えられています。複合体 I は、NADH から呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンと考えられています。類似性: 複合体 I NDUFA8 サブユニット ファミリーに属します。類似性: 2 つの CHCH ドメインが含まれます。サブユニット: 複合体 I は 45 の異なるサブユニットで構成されています。、

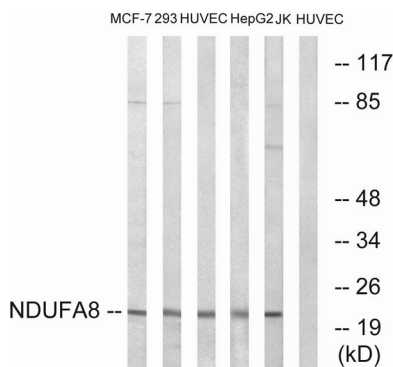
研究分野

酸化的リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

画像データ



NDUFA8 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト臍臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



NDUFA8 抗体を用いた HUVEC、MCF-7、Jurkat、HepG2、および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NDUFA8 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。